

生徒指導だより

第19号

令和7年7月14日発行
市川市立大洲中学校
生活指導担当

今回の「生徒指導だより」は、4年前に学級通信として出した文章を少し修正したものです。夏休みの考え方を伝えるのにちょうど良い文章なので、少し古いものですが紹介します。

長い夏休み

7/19(土)～8/31(日)まで44日間の長い夏休みになります。夏休み期間は、自由になる時間が増え、自分に対して様々な「特別」を認めてしまいがちになります。後にも書いてありますが、良い意味での非日常を体験するための「特別」はいくらあっても構わないと思いますが、生活のリズムを乱してしまう「特別」は作るべきではありません。夏休みの生活を充実させるためにも、2学期に良いスタートを切るためにも、起床・就寝時刻のリズムは崩さないようにしましょう。

さて、夏休みは何をする期間なのでしょうか。

まず、夏休みは学習をする期間です。各学年宿題が出されていると思いますが、宿題をやるだけが夏休みの学習ではありません。

1年生は、1学期の復習はもちろんですが、小学生の時の復習もしっかりとやっておきましょう。期末テストの結果を受けて中学校の勉強が不安になっている人、1学期にとったノートをよく見て（読んで）、1学期の内容を振り返っておきましょう。

2年生は、1年生同様1学期の復習はもちろんですが、苦手意識を持っている教科の学習に時間を多く割いて頑張ってみましょう。得意なこと（長所）を伸ばすことも大切なことですが、短所をそのまま放置しておく、必ずどこかで（大事な場面で）精神的な弱みになります。「得意にするぞ！」と力を入れなくても構いません。まずは苦手なことに「チャレンジできた」という実績を積み重ねていきましょう。

3年生は、受験（受検）に向けて、勉強することはもちろんですが、進路の情報をたくさん集めることに力を入れましょう。自分の可能性に線を引いて目標を絞り込むのはまだまだ先です。今は、学習と並行して情報収集をして選択肢を広げる時期だと考えましょう。

また、夏休みは普段できないことができる期間です。学習も大事、部活動も大事、それがおそろかになるのは良くないと思いますが、学校の授業がある時よりも確実に時間はとれるはずで。良い意味での非日常を感じることは、日常に戻った時に必ず良い影響をもたらします。先生方も「日常」を充実させるための「非日常」を味わう計画を立てていると思います。先生方と生徒の皆さん何人かに夏の計画を取材してみました。北海道、福島、群馬、兵庫、島根、新島、松山、軽井沢、ハワイ、香港、韓国……。いろいろなところで非日常を味わうみたいですね。

そして、夏休みは様々なことの力を蓄える（磨く）期間でもあります。部活動、それ以外に継続して取り組んでいる活動。ただその場において時間を消化するだけではなく、常に「昨日までの自分を超越する」ことを意識して取り組んでいきましょう。周りとは比べるのではなく、じっくりと自分を磨く期間にあてることで得られるものは多いはずです。